

会員の作品に見入る入場者



美術・芸能部門に

力作、熱演

文化祭に1,600人が入場

市民の日ごろの文化活動を発表

する場として、今年で十三回目を迎えた「南国市文化祭」（市文化推進協議会主催、島村辰彦会長）が、十月十九日から二十六日まで

の八日間にわたって市民体育館で開かれ、約千六百人の市民が訪れ

ました。

初日は、島村会長、鈴江広幸教育長のあいさつの後、司亭升楽さんが愉快な土佐落語で会場を沸かせました。

今年美術部門「書道・日本画、洋画、写真、きりえ、生け花、アーカートや鉄砲、輪投げなどのコーナーは子供たちの人気の的。舞台ではじゃんけん大会やバナナのたたき売りもあり、威勢のよい声が飛び交っていました。

大勢の市民でにぎわう

◇観光物産まつり◇

十一月二日、三日の両日、市内の名産品を集めて「第十回南国市観光物産まつり」が市民体育館で開かれ、大勢の市民が訪れました。

初日には、吉本助役、岡崎議長、吉村会長らがテープカットをして開幕。舞台では龍馬維新太鼓が景気を盛り上げました。

会場にはうなぎのかば焼き、ジャコなどの海産物、新鮮な野菜、打ち刃物などを展示。無料刃物研ぎコーナーや、土曜市組合のよもぎもちの実演販売は好評でした。

そのほか、N T T南国電報電話局や南国郵便局なども出店。米消費拡大図画コンクールのコーナーには市内の小学生の作品が展示されました。

また、会場の外に設けられたゴ



多くの買物客でにぎわった観光物産まつり

トフラワーなど十二部門）に約二百五十点の力作が展示され、訪れた人たちは熱心に鑑賞していました。十九日と二十六日に行われた芸能部門「詩吟、コーラス、大正琴、民謡など」には約百四十人が出演。日ごろの練習の成果に盛

んな拍手が送られていました。また、文化祭の参加行事として二十五日に市民映画祭が市立中央公民館で開かれ、四十人が入場。昔懐かしい「天国と地獄」など二本が上映され、観客は楽しく観賞していました。

秋の味覚が いっぱい 土曜市記念感謝祭



近永日曜市の皆さんもいっしょに鳴子踊りを楽しんだ

恒例の土曜日記念感謝祭が十月二十五日、土曜市会場で開かれ、朝から大勢の市民が詰めかけました。

これは土曜市組合（中村朋子理事長）が毎年開催しているもので今年は十八周年。

N T T南国電報電話局、南国郵便局、国鉄後免駅、後免町商店街、姉妹市の愛媛県広見町近永日曜市が特別参加。くりなどの秋の味覚や全国各地のテレホンカードなど

に人気が集まっていました。会場では朝から多彩な催しが行われ、お楽しみ福引きには長い列ができていました。午後二時から龍馬維新太鼓やもち投げ、よきこい鳴子踊りが行われ、近永日曜市の皆さんもいっしょになって楽しんでいました。

また、土佐清風園のお年寄りが訪れ、昼食会を開くなど、会場は一日中にぎわっていました。